



3学期の教育活動も活発です

1年のまとめでありながら、次の学年への準備期間でもある3学期です。季節は大寒を迎えましたが、1月も様々な活動が盛んに行われています。校外から人を招き、ネットワークの資源を最大限に活用して本物にふれさせ、子どもたちの学びを豊かにしようとしています。

■ 箏体験【4年生】 1月10日

音楽の授業で、本校を卒業された地域の方を講師にお招きして本物にふれる体験学習をさせていただきました。最初に演奏を聴かせていただき、箏の流派や爪の種類、楽譜の読み方などを丁寧に教わりました。弦のひき方を学んでから、それぞれグループに分かれて実際に弾いてみました。見慣れない数字の楽譜に、最初はぎこちない弾き方でしたが、慣れてくるとあちこちで「さくらさくら」の音色が響き始めました。あっという間の1時間でしたが、大変貴重な体験をさせていただきました。



本物の演奏に聴き入っています



実際に体験してみました

■ 災害に備える 防災食【5年生】 1月15日



大切なのは災害への備えです



様々な防災食があります

阪神淡路大震災からもうすぐ30年の1月15日、給食センターの羽瀨栄養教諭に来ていただき、災害にあったときの食の備えとして防災食について学習しました。防災三本柱（自助、共助、公助）を知った後で、災害が起きて避難するときに自分が必要だと想う食べ物について考えました。選んだ5つで3日間生き延びなく



アルファ化米をいただきました

てはならないので、みんな真剣に考えました。また、日ごろの備えとして、ローリングストック法（備える→食べる→買うの繰り返し）についても教えていただきました。防災食の一つであるアルファ化米もお湯を注いで作り、給食の時間にいただきました。震災を経験していない子どもたちですが、「災害時は自分で自分を守ることが大切だとわかった」「災害が起きると、不便なことがたくさんあるので、事前に準備をしておきたい」「食の問題に気をつけて備えておきたい」とふり返ることができました。

■ 阪神淡路大震災追悼集会 1月17日

今年、阪神淡路大震災が起こって30年が経ちました。当時の映像を子どもたちは見つめます。兵庫県では、4人に1人が震災後生まれになったと言われています。八鹿っ子たちはもちろんですが、震災を経験していない教職員もいます。その中で、語り継いでいくことの重要性を再認識

しました。防災担当の教員が、震災当時一番困ったのはライフラインが寸断し、断水して飲み水はもちろんのことトイレに流す水もなかったことを話しました。災害時の備えの一つとして、非常用簡易トイレの紹介がありました。今は、ホームセンターなどでも購入することができます。



震災から30年がたちました



心をこめて「しあわせはこべるように」

「備えあれば憂いなし」地震をなくすことはできないけれども、備えによって、災害を減らすことはできます。最後に「しあわせはこべるように」を全校生で歌いました。思いを込めた歌声が心に響きました。

大震災の教訓を受け継いでいくことは、これからも防災教育の大きな使命です。

■ 6年生中学校登校と八鹿青溪中学校入学説明会 1月21日



技術科の授業



理科のグループでの活動



図工 本物そっくり



保護者・6年生対象の入学説明会

3回目の八鹿青溪中学校6年生登校でした。6年生にとっては中学校入学に向けて最後の中学校登校です。今回も、中学校の先生による授業を3時間受けました。回を重ねるに従って他校の友達ともずいぶん打ち解けてきたようです。柔らかい表情で、話し合ったり協力し合ったりしながら学習に取り組みました。午後からは保護者参観授業と八鹿青溪中学校入学説明会が開催されました。着々と卒業に向かっていく6年生。中学校への気持ちも少しずつ高まってきていると感じます。小学校生活をしっかりと仕上げていくことが、中学校への準備となります。

■ 学校給食コンクール 最優秀賞をいただきました 1月22日



養父市内の小中・義務教育学校の児童が参加し、385点のアイデア献立の中から、6年生の谷垣さんが最優秀賞に選ばれました。今年度は「地産地消」がテーマで、タイトルは「養父市に感謝 食べれば笑顔 スマイル献立」。特別栽培米の蛇紋岩米を使った炊き込みご飯や、旬の野菜白菜や大根、カボチャなどと八鹿豚や魚を組み合わせた力作でした。この献立には、養父市の食材をもっと知ってほしいことや、作ってくださった農家の方、調理していただいた給食センターの方々に思いを馳

せながら食べて笑顔になってほしいとの願いが込められています。

■ 入学説明会 1月24日

4月から八鹿っ子となる新1年生の入学説明会を実施しました。今春は42名の新入生が入学する予定です(1月24日現在)。2月には体験入学会と5・5交流を実施します。新しい八鹿っ子たちが、ワクワクドキドキした気持ちで八鹿小学校にやって来てくれる日を楽しみに待っています。

